

市民ホール市民説明会・現地見学会 質疑応答要旨

日 時：平成31年3月30日（土）13時30分から14時30分まで

場 所：小田原市民会館 小ホール（市民説明）、建設予定地（現地見学）

参加者：42名

■質疑応答（発言要旨）

質疑	回答
<p>【市民1】 工事車両の経路はどうなっているか。</p>	<p>【鹿島建設】 国道1号側（東側）の出入りをメインとして考えている。お堀端通り側（西側）はサブ動線として考えおり、そこから南側に出ていき、国道1号を通る。</p>
<p>【市民2】 音響シミュレーションについて、もう少し分かりやすく説明してもらいたい。音の強さ、エコー、周波数特性はどうか。市民会館と比べてどうか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】 永田音響設計とも協力しながらシミュレーションを行っている。シミュレーションだけで音が良くなるという事ではなく、永田音響設計にも設計をチェックしてもらい、指摘があればその度に改善しながら進めている。有害なブーミングやエコーをどのように排除しながら、クリアな音にしていけるのか検討を重ね、設計を進めている。施工についても数々のホール実績のある施工者であり、きちんとしたものが出来ると考えている。</p> <p>【アドバイザー】 市民ホールは現在の市民会館と大きく異なるのが客席の天井の高さである。これによって、大ホールの室ボリュームが大きくとられており、響きが非常に豊かになっている。クラシックの専門ホールに近い性能を持つ計算になっており、音響性能としては比べ物にならないほど向上している。舞台設備関連の専門家も設計の各段階でチェックを行っており、問題ないと考えている。</p>
<p>【市民3】 屋根材のガルバリウム鋼板は15年くら</p>	<p>【鹿島建設】 チタン亜鉛合金も対候性のある材料だ</p>

<p>いで錆びるため、塗装の塗り替えが必要である。それを考えると高いものになるのではないか。屋根材はチタン亜鉛合金の方が良いのではないか。にぎわい廊はホールとは違う機能であり、にぎわいの創出に寄与できるのか。本当に必要なのか。</p>	<p>が、材料の伸びが大きく、加工しづらいという特徴がある。屋根材について、コストとのバランスを踏まえ、小田原市と協議しながら最善を尽くしたいと考えている。</p> <p>【環境デザイン研究所】</p> <p>にぎわい廊の予算はホール本体とは別途となっている。プロポーザル時に、外部空間を利用してもっと人を集めるため、にぎわい廊を提案した。</p> <p>【小田原市】</p> <p>にぎわい廊は小田原城の正面に位置しており、観光客に対して観光情報を発信する機能として観光ガイダンス施設を整備したいと考えている。かまぼこ通り等、観光資源への回遊性を高める機能として期待している。</p>
<p>【市民4】</p> <p>狭い敷地の中に大ホールと小ホールを一緒に作られており、大小ホールのレイアウトの考え方についてもう少し説明してもらいたい。管理運営の概略スケジュールはどのように考えているか。</p>	<p>【環境デザイン研究所】</p> <p>大小ホールは単純に大きさの違うホールという事ではない。大ホールは多目的に様々な演目に対応できるように考えており、小ホールは発表や練習など、日常的に市民に使っていただけるよう、さらに多目的な利用を想定した設計としている。小ホールの利用者が大ホールに興味を持ち、大ホールで公演したいという方も出てくるのではないかと考えており、また、連携利用も考慮して、大小ホールの動線が短くなるように配置している。</p> <p>【小田原市】</p> <p>管理運営のスケジュールについては、まだ検討中ではあるが、令和3年秋のオープンを予定しているため、来年度には施設条例の策定作業を皆さんのご意見を聞きながら進めていきたいと考えている。</p>
<p>【市民5】</p> <p>地下を掘るとのことだが、工期やコストの問題は大丈夫なのか。ホールのインフォメーションと観光案内の連携は出来てい</p>	<p>【鹿島建設】</p> <p>建物の基礎を作る上でどうしても地下の掘削工事は必要になってしまう。深い部分で約7m掘削するが、今回の地下水位面</p>

<p>ないのではないか。地元の商業者ともっと話し合ってから進めるべきである。まずはホール本体にお金をかけるべきである。舞台設備についても聞きたい。</p>	<p>(7.5m程度)より上である。水の侵入を抑える山留め材を使用することや近傍の工事現場を参考にするなど、十分注意しながら、決められた工期・コストの中できちんと進めていきたい。</p> <p>【小田原市】</p> <p>にぎわい廊については関係各課と連携して進めていく。予算が余ったから整備するというものではなく、このタイミングで一体に整備することが合理的であると考えている。</p> <p>【アドバイザー】</p> <p>限られた予算の中で、これからの公共施設としての劇場のスタンダードになるような十分な質のものが計画されていると自信を持って言える。完成が非常に楽しみである。</p>
---	--